

当社の完成検査員問題および燃費・排出ガス測定データ書き換え問題に関するお詫び  
ならびに経営責任の考え方、企業体質改善の推進について  
(記者会見 冒頭メッセージ)

株式会社SUBARU、社長の吉永でございます。

この度は、当社群馬製作所における、燃費・排出ガス測定データの不正な書き換え行為により、お客様、お取引先様、その他の関係者をはじめ当社を取り巻くすべてのステークホルダーの皆様へ、多大なご心配・ご迷惑をおかけしたことを、改めて心よりお詫びいたします。

昨年 10 月に発覚した完成検査に係る不適切な取り扱いに関する調査の過程で、当社従業員による「燃費の抜き取り検査を実施する際、測定値の一部を変更した可能性がある」との発言が確認されたため、昨年 12 月下旬より、その事実関係等について調査を行って参りました。

約 4 か月という期間を要しましたが、本日、調査で判明した事実関係と、それに即した再発防止策について、国土交通省様にご報告して参りました。

調査報告書の詳しい内容については、このあと、品質保証本部長の大崎と、今回の調査責任者である加藤よりご説明申し上げますので、私からはポイントのみ申し上げます。

- ① 当社群馬製作所の、完成検査工程に属する燃費・排出ガスの抜き取り検査において、測定値を書き換え、実際の測定結果として記載すべき数値とは異なる数値を、「報告書」に記載するという不正行為が行われていたことが明らかになりました。
- ② 不正行為には複数の検査員が関与しており、長年にわたり行われていました。
- ③ 問題の背景には、全社的に完成検査業務の公共性や重要性に対する自覚が乏しいこと、規範意識の欠如といった点が挙げられます。これは、先に完成検査員問題の調査報告書でご指摘を頂いたことと同一であり、当社の企業風土に由来する問題と認識しております。
- ④ 一方、測定装置等に保存されていたデータを基に再検証を行った結果、不正行為があった全ての車種について、燃費・排出ガスに関する当社の品質管理基準を満たしていたことも確認しました。
- ⑤ 今回明らかになった不正行為は、コンプライアンス上極めて重大な問題だと真摯に反省しており、今後、全役員および全従業員が一丸となって、完成検査員問題と併せた再発防止策を徹底的に遂行して参ります。

最後に、昨年の完成検査員問題と今回の問題を受けた経営責任の考え方について、既に 3 月 2 日の役員体制変更に関する記者会見の場でも申し上げておりますが、改めてご説明申し上げます。

完成検査員問題とともに、すでに調査中であった今回の問題の「けじめ」を付けるため、取締役3名の退任に加え、私が2018年6月の株主総会をもって社長を退任すると、3月2日に発表いたしました。

先に述べた通り、今回のデータ書き換え問題の原因・背景は完成検査員問題と同じであり、当社の企業風土から生じた問題であると認識しております。そして、この企業風土を変えることの難しさも痛感しています。私は本件に真摯に向き合い、当社を「真に正しい会社」に生まれ変わらせるための改革を全うすることが、経営責任の取り方だと考えています。

失われた信頼の回復には、一刻の猶予もなく、改革を成し遂げる必要があります。

それには、強いリーダーシップの下、短期間のうちに、具体的な再発防止策の遂行と共に、全役員・従業員の意識や行動を根本から変える必要があると考えた結果、私が、代表取締役会長(CEO)に就任して、全力を注いでこの課題に取り組むことを選択しました。

既に具体的にこの取り組みを加速させる組織として、「正しい会社推進部」と「コンプライアンス室」を私の直轄下に新設しました。

一方、経営執行全般については、次期社長の中村知美に権限を委譲し、新社長の下で、新たなSUBARUが目指す将来像を描いた中期経営ビジョンを策定し、今夏を目途に発表する予定です。

一連の問題で、お客様をはじめとするステークホルダーの皆様に、多大なご心配やご迷惑をおかけしたことを、改めて心よりお詫びすると共に、皆様からの信頼を取り戻すべく、全力で取り組んで参ります。

それでは、調査報告書の内容について、大崎よりご説明いたします。

(以下略)

以上